



令和 5 年 11 月 7 日(火) 例会 (第2888回) 報告 (晴) No.2716

出席率 …… 28/39 71.79% 第2886回補正出席率 …… 38/40 95.00%

来訪者 (松江東RC) 大多和

欠席者 黒田、小坂、小藤、佐藤、高瀬、中村、平岡、福嶋、堀田、松本(勝)、村山

メイクアップ (インフォメーション) 3名 (理事会) 13名 (東京調布RC) 3名 (商工女性会ゴルフ) 10名

出席免除 足立、木村、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 赫 太郎 会長

2018年に始まったアメリカと中国の貿易摩擦が、世界情勢の変化のきっかけだと私は考えています。その後起きたコロナウイルスの世界蔓延による人の移動規制により経済の収縮が起こり、2022年に始まったロシアのウクライナへの軍事進攻によって世界でエネルギー価格や穀物等の価格上昇が起こり、日本でも様々な商品の値上がりが起こりました。更に10月から始まったイスラエルとパレスチナの紛争が新たな世界情勢を悪化する火種となっています。2018年から世界が悪い傾向に傾いているので、世界の人々が手と手を繋いで仲良くなり、早く明るく平和な世界に戻る事を祈っています。

◆幹事報告 浜田貴稔 幹事

◎石倉G事務所より「月信第5号」「地区大会お礼状」「世界ポリオデーイベントフォトコンテスト応募のお願い」 ◎地区R財団事務所より「財団室ニュース11月号」「2024-25年度地区補助金奨学生募集についてのお知らせ」 ◎11月Rレート1\$=149円 ◎本日、例会終了後「11月定例理事会」

11月結婚記念日祝い

1日 浜田貴稔 14日 松本 正
10日 木村正明 24日 市場和志
12日 中田耕治 27日 上田康文 各会員



浜田(貴)幹事 中田会員 松本(正)会員 市場会員 上田会員

◆委員会報告

◎ゴルフ同好会…瀬戸良三 会員

11/3(金祝)商工会議所女性会ゴルフに10名で参加しました。RC内では友森会員が初優勝!各賞の皆様へ賞品をお渡しします。

◎未来委員会…三輪昌輝 委員長

10/31(月)調布市へ赫会長、庄司PG、三輪の3名で出掛け、東京調布RCの金子会長はじめ6名の方々と初面談をさせて

— スマイルBOX —

◎結婚祝 市場、上田、中田、浜田(貴)、松本(正) ◎卓話をします! 北國 ◎北國さんの卓話、楽しみにしています。 赫、川田、喜多村、酒井(博)、定秀、谷田、松井、鷲澤 ◎北國さん、がんばって!面白い話をして! 内田 ◎醤油の話、しょうゆうこと。 岡空 ◎北國醤油はうまい。 酒井(英) ◎日本海の脂がのった魚には北國醤油!卓話楽しみです。 渡邊(冬) ◎北國さん、醤油以外の話も期待してます。 瀬戸 ◎赫会長、三輪直前会長、先日の東京調布RCとの面談、お疲れ様でした。 庄司 ◎東京調布RCとの交渉、順調です。 三輪 ◎スマイルに協力 小林、友森

頂きました。終始和やかに話が進み、前向きな手ごたえを感じる面談となりました。先方RCは2週間後に「60周年式典」を控えておられる時期なので、その後改めてクラブとしての回答を頂くことになりました。今後何度か交渉をすることになると思いますので、都度、皆さんに情報をお伝えし、最終的には全員で友好クラブ締結について判断をお願いしたいと思います。

◆11月行事予定(ロータリー財団月間/インターアクト週間)

11/19~22 ロータリー研究会 (神戸ポートピアホテル)
21(火) 休会(定款7条)

◆例会変更

☆米子中央RC 11/16(木) 休会(定款) ビジター受付無
☆米子東RC 11/22(水) 休会(定款) ビジター受付無

— プログラム — 「醤油の話」

北國恵久 会員



醤油は文永元年(1264年)にはこんにちの醤油の原形ができた、と文献に残っています。日本の醤油の起源は、信州生まれの覚心(1207~98)という、のちに臨済禅の巨人のひとりになる高僧が、宋の国から味噌を持ち帰った事に由来します。彼は43歳の時に入宋を決意し、紀州由良(ゆら)から出帆し、臨済宗の師を得ておおいに学び、在宋6年で由良にもどり地元西方寺の僧侶になりました。その後、彼の名は高くなります。

覚心は味噌が好きで、とくに径山寺(きんざんじ)で参学していた時に食べた味噌の味が好きでした。由良の北に湯浅と言う入江があり、覚心がこの湯浅に行った時、この地の水の良さが気に入り、径山でおぼえた作り方で味噌を作りました。炒った大豆と大麦のこうじに食塩を加えて桶に入れ、ナスや白瓜などをきざみ込み、密閉して熟成させる。こんにち「きんざんじみそ」と呼んでいるなめ味噌の先祖です。全国を行脚する時にこの味噌を持参し、広まったのです。醤油以前の調味料としては「ひしお」などが使われていましたが、径山寺味噌の味噌桶の底にたまった液で物を煮ると、その味はひしおの及ぶところではないことがわかり、湯浅の人々はその溜りをさらに改良して、醤油の原形ができました。醤油の古い起源が湯浅にあるのは、このような歴史があるからです。

覚心は様々な宗派の学問をおおいに学び、臨済宗にたどり着いた高僧です。一宗を興すほどの才華はみせてはいないのですが、日本の食生活史に醤油を登場させる契機をつくりました。後世の私達日本人にとっては、ありがたい存在なのです。

今回(11月14日) プログラム

「将棋の話」~藤井聡太はどのくらい強いのか
松本 正 会員

次回(11月21日)

休会
(定款7条)

次々回(11月28日) プログラム

「開業の経緯とそのお客様について」
包丁研ぎのお店タリイハモノ 樽井勇介氏